

SAMANTHA DE BENDERN

Associate Fellow at the Royal Institute of International Affairs at Chatham House, with deep knowledge on Ukraine, Russia, NATO, and the EU

LONDON
SPEAKER
BUREAU



サマンサ・デ・ベンダーンは、ロシア、ウクライナ、ベラルーシを専門とするチャタムハウスの王立国際問題研究所のアソシエイトフェローです。彼女はNATO本部でNATOとウクライナの関係の政治責任者として、またNATOのパブリックディプロマシー部門で旧ソビエト連邦のパートナー国の情報責任者として働いてきました。1990年代初頭、サマンサはロシア連邦の最初のEU大使の政治顧問であり、2014年には、ウクライナの安全保障および防衛評議会が偽情報と戦うのを支援するための英国政府資金によるプロジェクトの一部でした。

国際公務員として10年間働いた後、サマンサは民間部門に移り、スイスのクツ銀行とアメリカのメリルリンチ銀行の銀行家として働きました。彼女はまたControlRisksGroupのコンサルタントおよび私立探偵でもあります。

Topics

- Government
- Politics
- Women

この比較的まれな公的部門と民間部門の経験の組み合わせにより、サマンサは、民間部門に関連し理解できる方法で事実を提示することにより、地政学の安全と軍事問題をビジネスの聴衆に説明できる特権的な立場に置かれます。

サマンサ・デ・ベンダーンは自信を持って熟練した公の講演者として、モスクワとロシアの軍事アカデミーのロシア軍人にNATOについて話し、コソボ戦争後のセルビア軍との情報アウトリーチプロジェクトに着手した最初のNATO民間将校でした。ロシア、ウクライナ、ベラルーシについて、彼女の3つの主要な作業言語である英語、フランス語、ロシア語で政府や企業の聴衆に語った重要な経験。彼女は、さまざまな英国および国際的なテレビおよびラジオ局（BBC、GBニュース、アルジャジーラ、フランス-24、ベルサットなど）の定期的なコメンテーターです。

ロシアとユーラシアを除けば、サマンサはEUの問題、偽情報、金融犯罪との闘いに精通しています。チャタムハウスでの地位とは別に、彼女は紛争研究センター（旧防衛アカデミー）の上級顧問であり、ブリュッセルを拠点とする戦略的コミュニケーションコンサルタント会社であるLOWヨーロッパのアソシエイトネットワークの一部でもあります。

サマンサはロシア、ウクライナ、インド、フランス、ベルギー、チェコ共和国、英国に住み、働いてきました。英語、フランス語、ロシア語で人前で話す仕事を喜んで引き受けます。

サマンサはUCLロンドンを卒業し、ロンドンスクールオブエコノミクスで政治学の修士号を取得し、エコールシュペリエールドコマースドパリで財務管理の修士号を取得し、現在、2021年から23年にかけて犯罪小説クリエイティブライティングの修士号を取得しています。イーストアングリア大学。

彼女は現在、ウクライナのアイデンティティに関する本を研究しており、1994年と2020年にベラルーシを拠点とするスパイノワール小説を完成させる過程にあります。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988